

篠崎 高等学校 令和5年度(2学年) 教科

單位數： 1 單位

使用教科書：（東京都教育委員会「人間と社会」）

【知識及び技能】	地域社会における企業や団体が抱える課題について、他者との協働に基づく探究的な学びを通して理解することができる。
【思考力、判断力、表現力等】	地域社会における企業や団体が抱える課題を解決するために、企業へのインタビューやアンケートなどの調査を基に、多面的、多角的に分析し、その過程や望ましい解決の在り方について表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】	地域社会における企業や団体が抱える課題について、他者と協働しながら主体的に望ましい解決の在り方について探究しようとする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域社会における企業や団体が抱える課題について、他者との協働に基づく探究的な学びを通して理解することができる。	地域社会における企業や団体が抱える課題を解決するために、企業へのインタビューやアンケートなどの調査を基に、多面的、多角的に分析し、その過程や望ましい解決の在り方について表現することができる。	地域社会における企業や団体が抱える課題について、他者と協働しながら主体的に望ましい解決の在り方について探究しようとしている。

[illegible]

高等学校 令和5年度 教科

国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位
対象学年組：第2学年 1組～7組
教科担当者：（1組：名取）（2組：名取）（3組：名取）（4組：坂元）（5組：坂元）（6組：坂元）
使用教科書：（「文学国語」東京書籍（文国701））（7組：坂元）
教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 随筆 「雨月物語」 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・筆者の考え方の変化を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。 1 「物語」に対する筆者の考えに注目して、本文を通読する。 2 筆者が「子供向けに書かれた本」をどのように感じていたかを読み取る。 3 『雨月物語』や『怪談』がどのような作品か確認し、筆者が『雨月物語』や『怪談』を好んで読んでいた理由を考える。 4 筆者が『雨月物語』の「浅茅が宿」からどのようなことを考え、何を感じたかを読み取る。 5 筆者がどのようなことを「これ以上ない希望だった。」と述べているか、読み取る。 6 「物語」に対する筆者の考え方の変化を整理する。 7 「物語」に対する自分の考えをまとめる。 ・一人1台端末の活用	○	○		【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主】進んで『雨月物語』が筆者に与えた影響を読み取り、今までの学習を生かして「物語」についての自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	10
	B 単元 小説「窓」 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。 1 「短編小説」の語の内容と「僕」との関係に注目しながら、本文を通読する。 2 「短編小説」が言った「小説ってのは小さな『窓』なんですよ。」とは、どのようなことを表しているか読み取る。 3 それを聞いた「僕」は何を考えたかを読み取る。 4 「ね、人は誰でも、ページ数を知ろうのない、一編の小説なんですよ。」とは、どのようなことを表しているか読み取る。 5 窓から外の風景を見ている「僕」の心情を読み取る。 ・一人1台端末の活用	○	○		【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主】粘り強く「短編小説」が象徴するものの理解し、学習課題に沿って自分自身の記憶の風景を思い出して文章を書こうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1

2 学 期	C 単元 小説「山月記」	・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 1 作者について予備知識を持ったうえで、現代社会の、あるいは自分が置かれた状況と同じ点、違う点について考える。 2 あらかじめ調べてきた語句の意味を確認し、漢文調を生かした語句の意味を明らかにする。 3 「語り」の変化を手がかりに、本文をいくつかの場面に分け、それぞれの要点をまとめる。 4 第一段に描かれた李徴の性格について発表する。 5 李徴がどのような経緯をたどって虎になったかをまとめる。 6 虎となった李徴の心情を考える。 7 李徴の心情、生き方を探る。 8 李徴は自らの詩をどのような理由から哀憐に伝え、哀憐はその作品をどのように感じたか、考える。 ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【主】 粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	D 単元 詩歌「鉄」「竹」「永訣の朝」 「硝子の駒——短歌抄」	「鉄」 ・詩に表現された事柄を捉え、日常の行動に込められた「わたし」の思いを読み取る。 1 作者と作品について理解する。 2 「鉄」が象徴しているものを詩から読み取る。 3 「わたし」の心情に着目しながら、この詩に共感できるところを理由とともにまとめ、グループで話し合う。 「竹」 ・特徴的なリズムや表現に気づき、それがどのような効果をもたらしているかを読み取る。 1 作者と作品について理解する。 2 音読し、表現上の特色として気づいたことや表現の効果をまとめる。 3 それぞれの連に描かれている世界をつかむ。 「永訣の朝」 ・表現された内容を読み取り、描かれた行動や言葉から「わたくし」の妹に対する思いを解釈する。 1 作者について、経歴や文学傾向を知る。 2 表現やリズムに留意して音読する。 3 作者独特の表現の背景にあるものについて考え、作者の目標としたものをまとめる。 ・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた情景や心情を読み取る。 1 それぞれの歌の表現に着目し、リズムを味わいながら音読する。 2 それぞれの歌の作者と時代背景を確認する。 ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【主】 進んで作品に表現された事柄を把握し、学習課題に沿って作品に込められた作者の思いを読み取ろうとしている。 進んで短歌独自の特徴と表現効果を理解し、学習課題に沿って印象に残った歌について、ひかれた理由を考え、まとめようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1

E 単元 小説「こころ」 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。 1 作者紹介などを参考に、本教材を学習するのに必要な範囲で、作者・作品について予備知識を持つ。 2 「こころ」についての概説と、本教材に至るあらすじを読み、「私」とお嬢さんとの関係、「私」とKとの関係を理解する。 3 本文を通読し、話の展開にしたがって、簡潔に要約する。 4 楔が出てくる場面を探し、本文中で重要なはたらきを持つ楔の役割に注目する。 5 Kの自殺を知った時の「私」の行動・心理を整理する。 6 場所・時などの変化に注意して事の経緯をまとめ、「私」とKの性格や生き方の違いについて考えて、全体を振り返り、描写から読み取れることについて話し合う。 7 この小説の主題について、考えたことを話し合う。 ・一人一台端末の活用。	○ ○ ○	【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主】 粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	○ ○ ○	11
定期考査				○ ○	1
F 単元 評論「文学のふるさと」 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・具体例と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学のよりどころについて理解を深める。 1 具体例の三作品とそこから導かれている筆者の考えに注意しながら、本文を通読する。 2 「アモラル」という視点から、筆者が「赤頭巾」「狂言」「伊勢物語」の作品のどこに着目しているか整理する。 3 「赤頭巾」について、筆者が「切ない悲しさ、美しさ」を感じる理由を読み取る。 4 「狂言」のモラルについて、筆者の捉え方を読み取る。 5 『伊勢物語』について、筆者が美しさやむごたらしさをどう捉えているか読み取る。 6 文学のモラルや社会性に注目しながら、「文学のふるさと」を筆者がどのように考えているかまとめる。 ・一人一台端末の活用。	○ ○	【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主】 粘り強く具体例と筆者の主張との関係に注意して本文を読み、学習課題に沿って文学のふるさとについて、筆者の考えを理解し、まとめようとしている。	○ ○ ○	14

[illegible]

高等学校 令和5年度 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：角 坂元 名取

使用教科書：（「古典探究」東京書籍）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・ 聞	書	読					
A 漢文 故事と小話 断腸 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 本文を正しく音読する。 2 脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。 3 桓公が「猿ノ子」を得た者を罷免した理由を考える。 4 「断腸」という故事成語の意味や使い方を辞書で確認する。			○	・[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・[思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・[主] 進んで漢文の読み方を確認し、学習課題	○	○	○	10
B 古文 十訓抄 大江山の歌 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 定頼中納言の言動の内容を読み取る。 2 小式部内侍のとった行動を読み取る。 3 和歌文学、および和歌の技巧について理解する。			○	・[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・[思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手	○	○	○	

1
学期

					の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 [主] 進んで和歌を含んだ説話を読み取り、学習課題に沿って展開のおもしろさを捉えようとしている。					
定期考査										1
C 漢文 故事と小話 蛇足 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1本文を正しく音読する。 2脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。 3「為ス二蛇ノ足ヲ者」が酒を失った理由を考える。				○ ○					10
定期考査										1
D 古文 方丈記 ゆく河の流れ 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1全文を繰り返し音読し、その構成と内容を捉える。 2「人」と「栖」と、「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点について考える。 3「無常を争ふさま」とはどのようなことを踏まえて、『方丈記』で描かれる「無常観」について考える。				○ ○					15
E 漢文 唐詩と文 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1それぞれの作者について理解する。 2詩を声に出して読む。 3それぞれの詩の内容を捉える。 4唐詩の詩形、押韻、対句の表現について考える。 5正確な現代語訳をする。 6繰り返し朗読して唐詩の調べを理解し、暗唱する。				○ ○					15

2 学 期	豊かに想像したりする力を伸ばし、 古典などを通して先人のものの見 方、感じ方、考え方との関わりの中 で伝え合う力を高め、自分の思いや 考えを広げたり深めたりすることが できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めると ともに、生涯にわたって古典に親し み自己を向上させ、我が国の言語文 化の担い手としての自覚を深め、言 葉を通して他者や社会に関わろうと する態度を養う。	7 訳詩を試みる。			を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化 の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化 との関係について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親し み、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊か にする読書の意義と効用について理解を深めて いる。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ て、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ て、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉 えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景 や他の作品などとの関係を踏まえながら古典な どを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値 について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章な どに表れているものの見方、感じ方、考え方を 踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の 考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んでさまざまな唐詩を読み味わい、学 習課題に沿って、言語感覚や想像力を豊かにし	○	○	○		
	定期考査						○	○		1
	F 古文 土佐日記 馬のはなむけ 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語 の知識や技能を身に付けるととも に、我が国の伝統的な言語文化に対 する理解を深めることができるよう にする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり 豊かに想像したりする力を伸ばし、 古典などを通して先人のものの見 方、感じ方、考え方との関わりの中 で伝え合う力を高め、自分の思いや 考えを広げたり深めたりすることが できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めると ともに、生涯にわたって古典に親し み自己を向上させ、我が国の言語文 化の担い手としての自覚を深め、言 葉を通して他者や社会に関わろうと する態度を養う。	1 当時の月日や時刻の呼び方につ いて知る。 2 この章段に書かれている旅立ちの 事情を読み取る。 3 臚化表現、機知を感じさせる表現 を指摘し、この作品の特色を考え る。 4 冒頭の一文から、作者がどのよう な日記を書こうとしているのかを考え る。		○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理 解し、古典を読むために必要な語句の量を増す ことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしてい る。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について 理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や 展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響き やリズム、修辞などの表現の特色について理解 を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化 の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化 との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読 のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ て、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ て、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉 えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手 の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈すると ともに、文章の構成や展開、表現の特色につ いて評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景 や他の作品などとの関係を踏まえながら古典な どを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値 について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章な どに表れているものの見方、感じ方、考え方を 踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の 考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで作品の表現や形式の特徴につ いて理解し、学習課題に沿って作者の意図を読み取 ろうとしている。	○	○	○		15
	G 漢文 唐詩と文 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語 の知識や技能を身に付けるととも に、我が国の伝統的な言語文化に対 する理解を深めることができるよう にする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり 豊かに想像したりする力を伸ばし、 古典などを通して先人のものの見 方、感じ方、考え方との関わりの中 で伝え合う力を高め、自分の思いや 考えを広げたり深めたりすることが できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めると ともに、生涯にわたって古典に親し み自己を向上させ、我が国の言語文 化の担い手としての自覚を深め、言 葉を通して他者や社会に関わろうと する態度を養う。	1 それぞれの作者について理解す る。 2 詩を声に出して読む。 3 それぞれの詩の内容を捉える。 4 唐詩の詩形、押韻、対句の表現に ついて考える。 5 正確な現代語訳をする。 6 繰り返し朗読して唐詩の調べを理 解し、暗唱する。 7 訳詩を試みる。		○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理 解し、古典を読むために必要な語句の量を増す ことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしてい る。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について 理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響き やリズム、修辞などの表現の特色について理解 を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化 の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化 との関係について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親し み、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊か にする読書の意義と効用について理解を深めて いる。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ て、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ て、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉 えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景 や他の作品などとの関係を踏まえながら古典な どを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値 について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章な どに表れているものの見方、感じ方、考え方を 踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の 考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んでさまざまな唐詩を読み味わい、学 習課題に沿って、言語感覚や想像力を豊かにし	○	○	○		
	定期考査						○	○		1

3 学 期	旧 古文 上級日記 門出 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 本文を読み、作者の育った東国の生活について理解する。 2 作者の物語への憧れについて整理する。 3 門出にあたっての作者の心情を読み取る。 4 作品全体の冒頭部分としての意味を考え、この日記の構造と主題を理解する。	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで文学史における日記文学の位置づけについて理解し、学習課題に沿って作者の置かれた境遇や物語に向けられた心情について読み取ろうとしている。	○	○	○	15
	I 漢文 寓話 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 本文を繰り返し音読する。 2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。 3 それぞれのたとえ話が、元のものよりも優れたものとなっている例と、ものの性質は後天的に矯正することができる例であることを確認する。 4 主題をまとめる。	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで古代中国のさまざまな考え方に触れ、学習課題に沿って寓話や故事成語の意味に	○	○	○	
	定期考査					○	○	
								合計
								70

高等学校 令和5年度 教科 国語 科目 論理国語

教 科： 国語 科 目： 論理国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組：角）（2組：高橋）（3組：角）（4組：高橋）（5組：角）（6組：高橋）（7組：角）

使用教科書：（東京書籍「精選論理国語」）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	いつもそばには本があった	読書の意義について筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力・判断力・表現等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて、「読書」について自分の意見をまとめ、発表しようとしている。	○	○	○	6
	ミロのヴィーナス	・具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。 ・書かれている内容を理解し、論理的に考えることの意義を知る。	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力・判断力・表現等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで芸術における具体と抽象の関係性や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる、芸術に対する見方を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	相手依存の自己規定	具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力・判断力・表現等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理解し、学習の見通しをもって調べた身近な例を整理・分析して自己把握についての考えをまとめ、他者に伝えようとしている。	○	○	○	6
	科学的「発見」とは	本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力・判断力・表現等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立ったものの見方やお	○	○	○	6

			○	○	○	している。 [思考力・判断力・表現等] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 [主体的に学習に取り組む態度] 積極的にスポーツとメディアという社会事象の分析を通した筆者の主張を読み取り、学習課題に沿ってスポーツについて具体例を挙げながら、自分の考えをまとめようとしている。				9
定期考査							○	○		1

高等学校 令和5年度 教科

地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組：山下） （2～7組：両角）

使用教科書：（帝国書院『明解歴史総合』 副教材『明解歴史総合図説シンフォニア』 ワークシート 1）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 歴史的な転換点の因果について理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な事象の意義、及びその特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりして、現代の諸課題について、歴史的な事象を踏まえ、より良い社会の実現を視野に主体的に解決しようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の持つ重要な要素としての「大衆社会」、「グローバル化社会」が、さまざまな国際秩序の変化に基づいて生じていることについて理解しているとともに、諸史料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けている。	歴史的な事象の意味や意義、特色や相互の関連を、地形的関係、社会体制、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ活用し、多角的、多面的に考察したり、現代の諸課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	歴史的な事象を踏まえ、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、及び世界と結びつく国際人としての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	欧米諸国における近代化 【知識及び技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	・指導事項 ①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命の影響と国民意識の芽生え ③産業革命で変わる社会 ④イギリスの繁栄と国際分業体制 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	欧米諸国における近代化 【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	○	○	○	5
	近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について定期考査	・指導事項 ①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第二次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	近代化の進展と国民国家形成 【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
				○	○	○	1
	アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	・指導事項 ①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 ④黒船の来航と日本の対応 ⑤新体制の模索と江戸幕府の滅亡 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
	近代化が進む日本と東アジア 【知識及び技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について定期考査	・指導事項 ①新政府の誕生 ②近代国家を目指す日本 ③日本と芯の近代化と日清戦争 ④列強の中国進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	近代化が進む日本と東アジア 【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	7
				○	○	○	1
	第一次世界大戦と日本の対応 【知識及び技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。	・指導事項 ①ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 ②総力戦となった第一次世界大戦 ③ロシア革命と大戦の終結 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	第一次世界大戦と日本の対応 【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】				

2 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆国際協調と大衆社会の広がり	教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	5
	【知識及び技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究	・指導事項 ①ヴェルサイユ体制の成立 ②東アジアの民族自決の行方 ③中東・インドの民族自決の影響 ④ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ⑤大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ⑥日本における大衆社会の形成 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	国際協調と大衆社会の広がり 【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	日本の行方と第二次世界大戦 【知識及び技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究	・指導事項 ①世界恐慌が与えた影響 ②ファシズムの台頭と拡大 ③政党政治の断絶と満州事変 ④日中戦争の始まり ⑤第二次世界大戦の展開 ⑥戦局の悪化と被害の拡大 ⑦第二次世界大戦の終結とその惨禍 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	日本の行方と第二次世界大戦 【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	グローバル化と私たち 【知識及び技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦下における各国の動向が、	・指導事項 ①アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ②冷戦下における日本の復興 ③第三勢力の形成と脱植民地化 ④中東戦争とパレスチナ問題 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	【知識・技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
							合計 66

高等学校 令和5年度 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1組：山本・春田）（2組：春田・山口）（3組：生天目・山本）（4組：生天目・山口）（5組：山本・生天目）（6組：山口・生天目）（7組：山口・山本）

使用教科書： （ 数学Ⅱ Standard（東京書籍） ）

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を育てる。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
既習の整数の除法や分数の計算と関連づけて、多項式の除法や分数式の計算の方法を考える活動を導入し、計算の方法について理解を深めさせる。座標を設定して円や直線を方程式で表現することができるようにする。	二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて、問題を解決できるようにする。三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができるようにする。	問題解決に向けて粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 章 方程式・式と証明 【知識及び技能】 簡単な高次方程式について因数定理を用いてその解を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組みるようにする。	・指導項目 1 節 多項式・分数式の計算 2 節 2 次方程式 3 節 高次方程式 4 節 式と証明 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 様々な定理や公式を有効に用いて、正しく計算することができる。 【思考・判断・表現】 日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	2 章 図形と方程式 【知識及び技能】 直線や円を方程式で表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形を、方程式で表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組みるようにする。	・指導項目 1 節 点と直線 2 節 円 3 節 軌跡と領域 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。軌跡を求めることができる。 【思考・判断・表現】 図形の性質や位置関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
2 学 期	3 章 三角関数 【知識及び技能】 弧度法による角度の表し方について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組みるようにする。	・指導項目 1 節 三角関数 2 節 加法定理 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 三角関数の加法定理や2 倍角の公式を適切に活用することができる。 【思考・判断・表現】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	4 章 指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 指数と対数を相互に関連づけて考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組みるようにする。	・指導項目 1 節 指数関数 2 節 対数関数 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 指数や対数の方程式・不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 指数と対数を相互に関連づけて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学 期	5 章 微分と積分 【知識及び技能】 関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフをかくことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 積分の考えを用いて、グラフで囲まれた図形の面積を求める方法を考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組みるようにする。	・指導項目 1 節 微分の考え 2 節 積分の考え ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 導関数を用いて、関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 積分の考えを用いてグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	32
	定期考査			○	○		1
							合計 140

高等学校 令和5年度 教科 数学 科目 数学B

教科： 数学 科目： 数学B 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 7 組

教科担当者：（山口）

使用教科書：（ 数学B Standard（東京書籍） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を育てる。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな数列の一般項や和を求めるときに、等差数列や等比数列の一般項や和と関連づけて統合的に捉えることができるようにする。事象の変化を漸化式で表すことができるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察できるようにする。確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断することができるようにする。	問題解決に向けて粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1 章 数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列について理解させ、それらの一般項や和を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 事象から離散的な変化を見出し、その規則性を数学的に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組みるようにする。	・指導項目 1 節 数列 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 等差数列や等比数列の一般項と和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 数列の規則性を正しく捉え、数学的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	1 章 数列 【知識及び技能】 いろいろな数列の一般項や和を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数列の和において、 Σ を用いて表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組みるようにする。	・指導項目 2 節 いろいろな数列 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 いろいろな数列の一般項や和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 いろいろな数列の和を、 Σ を用いて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	1 章 数列 2 章 統計的な推測 【知識及び技能】 漸化式で表された数列の一般項を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的帰納法を用いた証明について考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組みるようにする。	・指導項目 3 節 漸化式と数学的帰納法 1 節 標本調査 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 漸化式で表された数列の一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 数学的帰納法を用いた証明方法について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	2 章 統計的な推測 【知識及び技能】 確率変数と確率分布について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 確率分布の特徴を平均や標準偏差で考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組みるようにする。	・指導項目 2 節 確率分布 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 確率変数と確率分布について理解することができる。 【思考・判断・表現】 確率分布の特徴を、確率変数の平均や標準偏差を用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	2 章 統計的な推測 【知識及び技能】 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 収集したデータを処理し、その母集団の特徴や傾向を推測し判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組みるようにする。	・指導項目 3 節 正規分布 4 節 統計的な推測 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】 収集したデータを処理し、その母集団の特徴や傾向を推測し判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和5年度 教科 理 科目 物理基礎

教科：理 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：(1～6組：上平) (7組：若杉) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書：(第一学習社)

- 教科 理 の目標：
- 【知識及び技能】

自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】

自然の事物、現象から疑問を見いだすことができ、その疑問に対して仮説を立てることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】

グループワークや実験において自分の意見を発表する等、周囲に対して配慮しながらコミュニケーションをとることができる。

科目 物理基礎	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
計算ができる。 自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を身に付ける。 実験器具を安全に使用することができる。	自然の事物、現象について疑問を見出し、その疑問に対して仮説を立てることができる。 自然の事物、現象と法則をつなげることができる。
【学びに向かう力、人間性等】	学習に向かう努力ができる。 実験やグループワーク等において協働的な行動をとることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 物理量の測定と扱い方、物体の運動 ・速さと時間、移動距離の関係の計算ができる。 ・身近な物理現象について考える。	指数、有効数字、物理量の計算 平均の速度、瞬間の速度、速度の合成、相対速度	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元 物体の運動、力と運動と法則 ・直線運動について理解させる。 ・物体が直線上の運動するときの加速度を計算できる。 ・等加速度直線運動についての計算ができる。	速度の合成、相対速度、加速度、等加速度直線運動の速さと距離	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学期	単元 力と運動と法則 ・物体に働く力を作図できる。 ・運動の3法則を知る。 ・運動方程式をつくれる。	力の合成と分解、運動の法則、作用反作用の法則、摩擦力、運動方程式	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	単元 エネルギー ・仕事を知り、計算できる。 ・力学的エネルギー保存の法則を理解できる。 ・熱量の計算ができる。	運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー保存の法則、比熱、熱容量、熱量、熱力学第一法則	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
3 学期	単元 波の性質、音波 ・波の性質を知る。 ・波の性質を知り、音波を考えられる。	波の分類、波の性質、音速、音の3要素、音の性質、固有振動数	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	○	○	○	9
	単元 電気 ・オームの法則を使える。 ・発電方法を知る。	電荷、電流、抵抗、オームの法則、合成抵抗、電力量、電流と地場、さまざまなエネルギー	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計 60

高等学校 令和5年度 教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：飯塚・阿原・吉田・赤峰

使用教科書：（大修館書店 ステップアップ高校スポーツ2022）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、体力の必要性について理解しようとする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、一人ひとりの違いを大切にしようとする意欲を育て、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎体力を向上と基本的な運動技能の習得を目指し、運動の楽しさや喜びを味わおうとする。運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身につけようとする。	運動を通して自分を知り、自己の課題にあった解決方法を見つけることができる。グループ活動を通して、自己の考えを他者に伝える力を養う。これまでの活動を振り返り、改善策を考え実行することができる。	自ら進んで集団の中で役割を果たし、周りと協力してスポーツを楽しみ、仲間を大切にできる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A	男子 陸上競技 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	○短距離走 ・合理的なフォームを身に付け、個人のタイムを短縮し、競走できるようにする。 ・スタートダッシュは地面を力強くキックして、徐々に状態を起こして加速できるようにする。 ・疾走後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムカルな動きで走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	6
B	男子 サッカー (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	・ 防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・ 味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・ 空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。 ・ 隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10
C	男子 水泳 (2単位・1単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。	○クロール ・ 手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・ 肘を曲げて腕全体で水をとり、水を引くようにして泳ぐ。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。				

	体刀の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	え、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スカーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	泳ぐとかでできている。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができている。	○	○	○	10
	D 男子 バドミントン (1単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・サービスでは、シャトルをねらった場所に打つこと。 ・シャトルを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ・攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にシャトルを上げること。 ・ネット付近でシャトルの侵入を防いだり、打ち返したりすること。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。 ・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーする。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができている。	○	○	○	8
1 学期	A 女子 陸上競技 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	○短距離走 ・合理的なフォームを身に付け、個人のタイムを短縮し、競走できるようにする。 ・スタートダッシュは地面を力強くキックして、徐々に状態を起こして加速できるようにする。 ・疾走後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムカルな動きで走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができてい 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができている。	○	○	○	

B 女子 バスケットボール (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・ 防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・ 味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・ 空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。 ・ 隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
C 女子 水泳 (2単位・1単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	○クロール ・ 手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・ 肘を曲げて腕全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 ・ 流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・ 肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・ キックは足の裏で力強くけること。 ・ 全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・ スカールリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
D 女子 卓球 (1単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	○卓球 ・ サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・ ボールを相手側のコートに打ち返すこと。 ・ 攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さ位置にボールを上げること。 ・ ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすること。 ・ 腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。 ・ ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーする。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	

E 男女体づくり運動（2単位） 【知識及び技能】 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保すること。	・運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。 ・調和のとれた体力の向上を図ったり、選択した運動やスポーツの場面で必要とされる体の動きを高めたりするために、効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。	【知識及び技能】 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	12
---	--	--	---	---	---	----

A 男子 水泳 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて腕全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スカーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐとができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	9
B 男子 バスケットボール (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。 ・隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	12
C 男子 柔道 (1単位) 【知識及び技能】 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解することができる。 自己の能力に応じて、適切な課題を持ち、受け身の完成に近づくことができる。 相手の動きに応じて攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 興味・関心を持ち、仲間と協力して積極的に取り組むことができる。 約束やルールを守り、練習場や周囲の状況を確認し、自他の健康・安全に留意して学習することができる。	・相手の動きの変化に応じた基本動作ができるようにすること。 ・得意技を用いて、相手との攻防をすること。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて取り組み方を工夫すること。 ・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。	【知識及び技能】 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解することができる。 自己の能力に応じて、適切な課題を持ち、受け身の完成に近づくことができる。 相手の動きに応じて攻防を展開できるようになっている。 【思考力、判断力、表現力等】 課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようになっている。 【学びに向かう力、人間性等】 興味・関心を持ち、仲間と協力して積極的に取り組むことができる。 約束やルールを守り、練習場や周囲の状況を確認し、自他の健康・安全に留意して学習することができる。	○	○	○	12

2 学 期	A 女子 水泳 (2単位)	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて腕全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スカーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐとができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	B 女子 ダンス (2単位)	【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他社に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ること。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ること。	【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他社に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	C 女子 ソフトボール (1単位)	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	○ソフトボール ・身体の軸を安定させてバットを振りぬくこと。 ・タイミングを合わせてボールを捉えること。 ・ねらった方向にボールを打ち返すこと。 ・スピードを落とさずに円を描くように塁間を走ること。 ・打球や守備の状況に応じた塁の回り方で、塁を進んだり戻ったりすること。 ・捕球場所へ最短距離で移 ・味方からの送球を受けるために、走者の進む先の塁に動くこと。 ・打球や走者の位置に応じて、中継プレイに備える動きをすること。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	

3 学 期	A 男子 陸上競技 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	○長距離 ・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ること。 ・呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10
	B 男子 卓球 (1単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	○卓球 ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ・攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にボールを上げること。 ・ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすること。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。 ・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーする。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10
	A 女子 陸上競技 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	○長距離 ・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ること。 ・呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	

B 女子 バドミントン (1単位)	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・サーブでは、シャトルをねらった場所に打つこと。 ・シャトルを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ・ 攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にシャトルを上げること。 ・ ネット付近でシャトルの侵入を防いだり、打ち返したりすること。 ・ 腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。 ・ ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーする。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○
C 男女 体育理論 (2単位)	【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	・ スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツ理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見すること。 ・ スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。	【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	○	○	○
合計						
105						

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生涯を通じる健康	ライフステージと健康 ・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について 例をあげることができる。	【知識及び技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・中高年期を健康に過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形骸が変化する点、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・性意識の男女差については、認識を含む病気等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護・医療・福祉の連携・総合的な対応策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業環境や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働災害を防止するには、作業環境や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図ることが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	1
	【知識及び技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解する。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性の理解したり尊重したりする態度が必要であること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する点などについて、理解する。 ・中高年期を健康に過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係すること、地域における交流をもつことなどが関係することについて、理解する。 ・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形骸が変化する点、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する点などについて、理解する。 ・性意識の男女差については、認知症を含む病気等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護・医療・福祉の連携・総合的な対応策が必要であることについて、理解する。 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業環境や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解する。 ・労働災害を防止するには、作業環境や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解する。 ・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることにより成り立つことについて、理解する。 ・働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなど健康の保持増進を図ることが重要であることについて、理解する。	○	○	○	1		
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1		
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1		
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1		
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1		
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1		
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1		
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1		
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1		
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組むこととしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1			
【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決							

[illegible]

3 学 期	の課題を発見できる。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に活用できる。 ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てられる。 ・食品と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理できる。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 ・様々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に活用できる。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくり・積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てられる。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。	保健サービスとその活用 ・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・保健サービスの活用例をあげることができる。 医療サービスとその活用 ・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できる。 医薬品の制度とその活用 ・医薬品の正しい使用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。 さまざまな保健活動や社会的対策 ・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。 健康に関する環境づくりと社会参加 ・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。	・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 ・食品と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・様々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に活用している。 ・様々な保健活動や社会的対策について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	○	○	○	1
	【学びに向かう力、人間性等】 ・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。	さまざまな保健活動や社会的対策 ・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。	【学びに向かう力、人間性等】 ・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1
	・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。	健康に関する環境づくりと社会参加 ・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。	・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1
	・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。	定期考査		○	○		1
	・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。			○	○		1
	・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。						
	・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。						
	・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。						
	・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。						
	・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。						

合計
24

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組
教科担当者： 諫見のり子 児玉葉子
使用教科書：（ MOUSA 2 （教芸 音Ⅰ702） ）
教科 芸術 音楽 の目標：

- 【知識及び技能】 創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現することができる。
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関りについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現することができる。 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解を深める。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 鑑賞「サウンドオブミュージック」 【知識及び技能】 ①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解する。 ②音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら、ミュージカルの魅力を味わう。 ②音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことを考える。 ③曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 ①曲想や表現上の効果と音楽の構造の関り、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景について関心をもち、主体的、協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	・ミュージカルの歴史 ・ミュージカルの特徴 ・ミュージカルの代表作 ・「サウンドオブミュージック」の時代背景と ・鑑賞「サウンドオブミュージック」 ・鑑賞ワークシート（穴埋め、感想等） ・鑑賞テスト				○	【知識・技能】 ①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解している。 ②音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ①音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら、ミュージカルの魅力を味わっている。 ②音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じている。 ③曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①曲想や表現上の効果と音楽の構造の関り、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景について関心をもち、主体的、協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	B ピアノ 【知識及び技能】 ①ピアノの奏法について理解する。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ピアノやピアノ音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組む。	・ピアノの基本的な奏法 ・音階練習 ・指の練習 ・「喜びの歌」練習 ・「メヌエット」練習 ・実技テスト				○	○	①ピアノの奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように表現するかについて。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ピアノやピアノ音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○
	A 鑑賞「ウエストサイドストーリー」 歌唱「Tonight」 【知識及び技能】 ①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解する。	・ミュージカルの歴史 ・ミュージカルの特徴 ・ミュージカルの代表作 ・「ウエストサイドストーリー」の時代背景と社会問題 ・鑑賞「ウエストサイドストーリー」					【知識・技能】 ①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解している。 ②音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している。				

	ひ、その生えり特徴を生かす。 ②音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している。 ③創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声、言葉の発音、身体の使用方等の技能を身に付け、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら、ミュージカルの魅力を味わう。 ②音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことや感受したことを考える。 ③曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴く。 ④どのように演奏するのかについて、表現意図をもち、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ①「ウェスト サイド ストーリー」に描かれている社会問題や登	・道具「シンセサイザー」のプレイリー」 ・歌唱「Tonight」 ・英語の読み ・英語の意味 ・発声練習 ・歌唱練習 ・音楽用語（表現・強弱等） ・歌唱テスト	○	○	③創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声、言葉の発音、身体の使用方等の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら、ミュージカルの魅力を味わっている。 ②音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことや感受したことを考えている。 ③曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 ④どのように演奏するのかについて、表現意図をもち、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①「ウェスト サイド ストーリー」に描かれている社会問題や登場人物の心情に関心をもっている。 ②主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	B ピアノ 【知識及び技能】 ①ピアノの奏法について理解する。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ピアノやピアノ音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組む。	・ピアノの基本的な奏法 ・音階練習 ・指の練習 ・「エリーゼのために」 ・右手練習、左手練習、両手練習 ・実技テスト	○	○	【知識・技能】 ①ピアノの奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ピアノやピアノ音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	A ミュージックベル 【知識及び技能】 ①ミュージックベルの構造や奏法について理解することができる。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ミュージックベルやミュージックベル音楽に関心をもち、主体的協働的に取り組む。 ②アンサンブルの演奏をするに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組む。	・ミュージックベルの基本的な奏法 ・英語音名、イタリア語音名 ・グループ決め、担当決め ・ミュージックベル用楽譜作り ・グループ練習 ・グループ発表・鑑賞	○	○	【知識及び技能】 ①ミュージックベルの構造や奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ミュージックベルやミュージックベル音楽に関心をもち、主体的協働的に取り組もうとしている。 ②アンサンブルの演奏をするに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
3 学 期	B 合唱「ぼくはぼく」 【知識及び技能】 ①曲想や歌詞の内容や表現上の効果の関わりについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解する。 ②創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使用方等の技能を身に付け、歌唱で表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色・旋律・テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ②どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 ②歌詞の内容と作詞者・作曲者の思いに関心をもつ。	・発声練習 ・参考音源鑑賞 ・各パート音取り ・パート練習 ・合唱 ・歌詞の意味 ・表現の工夫	○		【知識・技能】 ①曲想や歌詞の内容や表現上の効果の関わりについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 ②創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使用方等の技能を身に付け、歌唱で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ①音色・旋律・テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 ②どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ②歌詞の内容と作詞者・作曲者の思いに関心をもっている。	○	○	○	10

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 芸術 科目 美術Ⅱ

单位数： 2 单位

(4・5組：武藤) (6・7組：関崎) (組：) (組：)

)

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】課題についての考えを深めてテーマや素材を選び、美的且つ効果的に表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】芸術を通して他者と自己の違いや互いの長所を認め合うとともに、粘り強く課題に取り組むことができる。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1 年次に学んだデッサンの見方と技術を基礎として、細密デッサンの技法を学ぶ。糸鋸を自在かつ安全に使用する。美術作品の調査方法とレポートの書き方、プレゼンテーション能力の向上を目指す。	与えられた課題に対して、学んだ知識と技術を基に、考えを深め、美的且つ効果的に工夫して表現することができる。美術史上の作品を調査し、作品を通じて考えたことや感じたことをレポートと発表で表現できるようにする。	主体的に授業に取り組み、美術の授業を通して他者と自己の違いや互いの長所を認め合うとともに、粘り強く課題に取り組むことができる。

[illegible]

3 学 期	A 単元 西洋美術史 【知識及び技能】 作品についての調査方法を知り、必要な事項を調査することができる。 作品について学んだことを、第三者に分かりやすく伝えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の調査を通じて得た自分の考えを美的かつ分かりやすくレポートにまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に主体的に参加し、粘り強く課題に取り組む。	・作品を調査する際のポイント ・発表方法 ・レポートの書き方 ・生徒により発表された作品についてのまとめと補足					○		・発表において、他の生徒に対して、大きな声で分かりやすく伝えることが出来たか。 ・発表において、作品を知るうえで、他の生徒に伝えるべきことを的確に伝えられたか。 ・レポートでは、作品の調査を通じて得た自分の考えを根拠を上げて述べているか。	○	○	○	16
													合 計
													70

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・知識 〔表現〕書体や書風と用筆・運筆との歴史的な関わりについて理解する。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、中国の文字変遷と書の伝統と文化について理解する。 ・技能 古典・古筆・刻印等に基づく応用的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付ける。	〔表現〕書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 〔鑑賞〕古典・古筆・刻印等の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	〔表現〕主体的に書道の幅広い表現の学習活動に取り組む。 〔鑑賞〕主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価	評価標準	知	思	態	数時当配
			漢	筆	仮						
1 学 期	○単元 漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、中国の文字変遷と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 〔鑑賞〕古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 〔鑑賞〕主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 〔楷書〕 甲骨文字 泰山刻石 石鼓文 吳昌碩 小篆 清朝篆書作品 上記古典を学び、様々な書体・書風、表現を学ばせる。 ・教材 光村図書 書Ⅱ			○	○	【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 〔鑑賞〕古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16
2 学 期	○単元 漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 〔鑑賞〕古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・指導事項 〔隷書〕 木簡 開通刻石 石門銘 乙瑛碑 〔草書〕 曹娥 十七帖 〔楷書〕 六朝楷書 張猛龍碑 〔行書〕 懷素聖教序 温泉銘 上記古典を学び、様々な書体・書風、表現を学ばせる。 【創作】 これまで学んだ書体・書風を生かし、生徒各自が選んだ詩文を半切形式に作品化させる。また様々な創作例を鑑賞し、作品に応用させる。 ・教材 光村図書 書Ⅱ			○	○	【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 〔鑑賞〕古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	20
	○単元 篆刻 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕刻法、用筆・運刀との関わりについて理解させる。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、篆書特有の文字構造について理解させる。 ・技能 清朝篆刻家（趙子謙）の基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕刻風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 〔鑑賞〕刻印の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に篆刻の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 〔鑑賞〕主体的に篆刻の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 篆刻作品 姓名印 ・教材 光村図書 書Ⅱ			○	○	【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕刻線・線質や書風、用筆・運刀との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、篆刻の伝統と文化について理解している。 ・技能 篆刻作品に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕姓名印の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 〔鑑賞〕清朝篆刻作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6

3 学 期	○単元 仮名の書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕 線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。 〔鑑賞〕 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 〔鑑賞〕 仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 〔鑑賞〕 主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 仮名の成立と種類についての説明、時代背景等、特徴的な筆遣いを理解させる。仮名の基本的な筆遣い（横の線、縦の線、転折、円運動、結びなど）を指導。 平仮名・変体仮名の指導。 寸松庵色紙 高野切第一種 弁色紙 上記古典を学び、様々な書風、表現を学ばせる。 【創作】 これまで学んだ仮名の書風を生かし、生徒各自が選んだ和歌を作品化させる。また様々な創作例を鑑賞し、作品に応用させる。 ・教材 光村図書 書 I			○	○	○	○	○	14
	○単元 漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 〔鑑賞〕 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の成立について理解させる。 ・技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を活かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫させる。 〔鑑賞〕 創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 〔鑑賞〕 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 漢字仮名交じりの書の特徴、歴史について指導。 漢字と仮名の調和や自由な紙面構成（全紙程度）などの表現の特徴を理解させる。また用具・用材（筆の毛質）の違いによる表現の違いも理解させる。 創作を通して、作品制作の楽しさ、難しさ、表現の多様さを感じさせる。心に響く言葉、好きな言葉を素材に作品制作させる。 作品鑑賞会により、生徒相互の意見を述べさせ、評価させる。	○		○		○		○	6 合 計 62

高等学校 令和5年度 教科

外国語（英語） 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語（英語） 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1,4,6組：清水敏）（2,3,5,7組：疋田）（L3,5組：清水敏）（L2,3,5,6,7組：狩俣）（L1,4,7組：野村）（L1,2,4,6組：疋田）

使用教科書：（Power On English CommunicationⅡ）

教科 外国語（英語） の目標：

【知識及び技能】外国語の技能（四技能）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできる。

【学びに向かう力、人間性等】外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。	多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の文で話して伝えることができる。	日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉え、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の文で話して伝えようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	記 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
1 学 期	Lesson 1 Play me, I' m Yours 【知識・技能】助動詞＋動詞の原形、受け身、S＋V [be 動詞以外]＋Cを用いた文の形・意味・用法を理解する。 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える。 【主目的】日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 【題材内容】ストリートピアノについてのテレビレポート 【言語材料】助動詞＋動詞の原形、受け身、S＋V [be 動詞以外]＋C 【言語の働き】説明する、報告する、紹介する、発表する ・教材 Power On English CommunicationⅡ スタディノートⅡ WORKBOOKⅡ Deep Listening レベル 2 ４～人1台端末の活用 等 Kahoot!、すららを活用	○	○	○	○	【知識・技能】助動詞＋動詞の原形、受け身、S＋V [be 動詞以外]＋Cを用いた文の形・意味・用法を理解している。 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。 【主目的】日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	10
	Lesson 2 Ethical Fashion 【知識・技能】S＋V＋O＋C [形容詞]、S＋V [使役]＋O＋C [原形不定詞]、S＋V [知覚]＋O＋C [現在分詞、原形不定詞]を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、また、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、また、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える。 【主目的】ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、また、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 【題材内容】現代のファッション業界についてのニュース記事。ファストファッションの問題点やエシカルファッションについて考える。 【言語材料】S＋V＋O＋C [形容詞]、S＋V [使役]＋O＋C [原形不定詞]、S＋V [知覚]＋O＋C [現在分詞、原形不定詞] 【言語の働き】説明する、理由を述べる、紹介する、発表する ・教材 Power On English CommunicationⅡ スタディノートⅡ WORKBOOKⅡ Deep Listening レベル 2 ４～人1台端末の活用 等 Kahoot!、すららを活用	○	○	○	○	【知識・技能】S＋V＋O＋C [形容詞]、S＋V [使役]＋O＋C [原形不定詞]、S＋V [知覚]＋O＋C [現在分詞、原形不定詞]を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、また、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、また、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。 【主目的】ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、また、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとする。	○	○	○	10
	定期考査							○	○	○	1
	Lesson 3 One for All, All for One 【知識・技能】現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif 節を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える。 【主目的】ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 【題材内容】ラグビー選手のリーチ・マイケル選手へのインタビュー 【言語材料】現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif 節 【言語の働き】質問する、説明する、紹介する、感謝する ・教材 Power On English CommunicationⅡ スタディノートⅡ WORKBOOKⅡ Deep Listening レベル 2 ４～人1台端末の活用 等 Kahoot!、すららを活用	○	○	○	○	【知識・技能】現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。 【主目的】ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとする。	○	○	○	10
	Lesson 4 Vending Machines 【知識・技能】関係代名詞（主格）、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞（目的格）を用いた文の形・意味・用法を理解する。 日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える。 【主目的】日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとする。	・指導事項 【題材内容】日本の自動販売機、海外の自動販売機についてのオンライン記事 【言語材料】関係代名詞（主格）、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞（目的格） 【言語の働き】説明する、紹介する、意見を述べる、発表する、質問する ・教材 Power On English CommunicationⅡ スタディノートⅡ WORKBOOKⅡ Deep Listening レベル 2 ４～人1台端末の活用 等 Kahoot!、すららを活用	○	○	○	○	【知識・技能】関係代名詞（主格）、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞（目的格）を用いた文の形・意味・用法を理解している。 日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。 【主目的】日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えようとする。	○	○	○	10
	定期考査							○	○	○	1

[illegible]

[illegible]

高等学校 令和5年度 教科

外国語（英語） 科目 論理・表現Ⅰ

教科： 外国語（英語） 科目： 論理・表現Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （2,7組：清水敏） （3,4組：米澤） （5,6組：野村） （1組：狩俣）

使用教科書：（Vision Quest English Logic and Expression I Standard ）

教科 外国語（英語） の目標：

【知識及び技能】 外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできる。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。	場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできる。 聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			聞	読	話 (一 言 一 句)	話 (発 言)						
1 学 期	Lesson 1 I want to introduce my new friend. [知識・技能] 様々な疑問文や命令文、感嘆文の意味や用法、相手の発話に応答する表現を理解する。 単文・重文・複文の構造や意味や用法、理由を述べる表現を理解する。 日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身に付ける。 [思考・判断・表現] クラスメートに日々の習慣や出来事を説明するために、日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う。 [主体的] クラスメートに日々の習慣や出来事を説明するために、日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合おうとする。	・指導事項 話題 紹介：初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。 文法 文の種類：様々な疑問文や命令文、感嘆文を適切に作り、それに応答する。また、単文、重文、複文の構成を理解し、まとまりのある文で表現する。 機能 応答する／理由を述べる：相手の発話に適切な応答をする。また、多様な表現を用い理由を述べる。 表現 話すこと：自分やパートナーのクラブ活動を紹介する。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける！ 英文法 INPUT ・一人1台端末の活用 等 Kahoot!、すららを活用					[知識・技能] 様々な疑問文や命令文、感嘆文の意味や用法、相手の発話に応答する表現を理解している。 単文・重文・複文の構造や意味や用法、理由を述べる表現を理解している。 日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身に付けている。 [思考・判断・表現] クラスメートに日々の習慣や出来事を説明するために、日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合っている。 [主体的] クラスメートに日々の習慣や出来事を説明するために、日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合おうとしている。				5	
	Lesson 2 Do you want to join our show? [知識・技能] 文型と動詞の意味や用法、賛成・反対する表現を理解する。 複雑な文型や動詞の意味や用法、聞き直す表現を理解する。 学校生活について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身に付ける。 [思考・判断・表現] クラスメートと情報を交換するために、自分の学校生活について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う。 [主体的] クラスメートと情報を交換するために、自分の学校生活について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合おうとする。	・指導事項 話題 学校生活：学校の文化祭に参加する留学生との会話を通して、学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学ぶ。 文法 文型と動詞：5つの文型と<There +be動詞+主語>の構文を理解し、文を組み立てる。また、注意すべき自動詞と他動詞を使い分ける。 機能 賛成・反対する／聞き直す：賛成・反対の意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりする。 表現 話すこと：文化祭に行く予定について話し合う。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける！ 英文法 INPUT ・一人1台端末の活用 等 Kahoot!、すららを活用					[知識・技能] 文型と動詞の意味や用法、賛成・反対する表現を理解している。 複雑な文型や動詞の意味や用法、聞き直す表現を理解している。 学校生活について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身に付けている。 [思考・判断・表現] クラスメートと情報を交換するために、自分の学校生活について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合っている。 [主体的] クラスメートと情報を交換するために、自分の学校生活について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合おうとしている。				5	
	定期考査											1
	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend. [知識・技能] 現在のことや過去のことを表す時制の意味や用法、激励や励ます表現を理解する。 現在のことや過去のことを表す時制の意味や用法を理解する。 自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付ける。 [思考・判断・表現] クラスメートと現在の習慣や状況、過去の出来事の情報を交換するために、自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う。 [主体的] クラスメートと現在の習慣や状況、過去の出来事の情報を交換するために、自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合おうとする。	・指導事項 話題 旅行・観光：旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。 文法 時制：基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて伝える。 機能 激励する・励ます／計画する・予定する：会話の相手を激励したり、励ましたりする。また、計画したり、予定していることを伝える。 表現 話すこと：過去に行った旅行の経験について話す。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける！ 英文法 INPUT ・一人1台端末の活用 等 Kahoot!、すららを活用					[知識・技能] 現在のことや過去のことを表す時制の意味や用法、激励や励ます表現を理解している。 現在のことや過去のことを表す時制の意味や用法を理解している。 自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付けている。 [思考・判断・表現] クラスメートと現在の習慣や状況、過去の出来事の情報を交換するために、自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合っている。 [主体的] クラスメートと現在の習慣や状況、過去の出来事の情報を交換するために、自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。				5	
	Lesson 4 Have you ever tried it before? [知識・技能] 現在完了形や現在完了進行形の意味や用法、経験を尋ねる表現を理解する。 現在完了形や現在完了進行形の意味や用法を理解する。 英語学習の期間や海外の渡航経験などについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付ける。 [思考・判断・表現] パートナーに経験したことや完了したこと、継続していることを尋ねるために、英語学習の期間や海外の渡航経験などについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う。 [主体的] パートナーに経験したことや完了したこと、継続していることを尋ねるために、英語学習の期間や海外の渡航経験などについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合おうとする。	・指導事項 話題 趣味・関心：趣味や関心のあることについて、その経験を尋ねたり、伝えたりする表現を学ぶ。 文法 完了形：現在・過去・未来の完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別する。また、共に使える語句を使って、適切に文を作ったり、表現したりする。 機能 経験を尋ねる／初めての経験を述べる：今までの経験や初めての経験について、様々な表現を用いて尋ねたり、伝えたりする。 表現 話すこと：スポーツや音楽の経験について伝え合う。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける！ 英文法 INPUT					[知識・技能] 現在完了形や現在完了進行形の意味や用法、経験を尋ねる表現を理解している。 現在完了形や現在完了進行形の意味や用法を理解している。 英語学習の期間や海外の渡航経験などについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付けている。 [思考・判断・表現] パートナーに経験したことや完了したこと、継続していることを尋ねるために、英語学習の期間や海外の渡航経験などについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合っている。 [主体的] パートナーに経験したことや完了したこと、継続していることを尋ねるために、英語学習の期間や海外の渡航経験などについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。				5	
定期考査												

	Lesson 5 What do you want to do after high school? [知識・技能] 助動詞（能力・許可・推量・義務・禁止など）の意味や用法、許可を求めたり、依頼する表現を理解する。 助動詞（能力・許可・推量・義務・禁止など）の意味や用法を理解する。 自分や相手の義務や能力について、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技術を身に付ける。 [思考・判断・表現] クラスリーダーに必要な資質や自分ができていることを説明するために、自分や相手の義務や能力について、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとする。	・指導事項 話題 将来、進路：将来や進路について、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手に尋ねたりする表現を学ぶ。 文法 助動詞：様々な助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現する。 機能 許可を求める、依頼する／義務・必要を表す／回想する・自省する：会話の相手に許可を求めたり、依頼する。また、義務や必要性を伝えたり、過去の事柄を回想したり、自省する。 表現 話すこと：将来の夢について、伝える。 教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける！ 英文法 INPUT 一人1台端末の活用等 Kahoot!、すららを活用					[知識・技能] 助動詞（能力・許可・推量・義務・禁止など）の意味や用法、許可を求めたり、依頼する表現を理解している。 助動詞（能力・許可・推量・義務・禁止など）の意味や用法を理解している。 自分や相手の義務や能力について、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合う技術を身に付けている。 [思考・判断・表現] クラスリーダーに必要な資質や自分ができていることを説明するために、自分や相手の義務や能力について、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。 [主体的] クラスリーダーに必要な資質や自分ができていることを説明するために、自分や相手の義務や能力について、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。				0	0	0	5
2学期	Lesson 6 Did you hear about the new shop? [知識・技能] 基本的な受動態や様々な受動態の意味や用法、原因・影響を表す表現を理解する。 基本的な受動態や様々な受動態の意味や用法を理解する。 身の回りで行くことに関する事柄について、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合う技術を身に付ける。 [思考・判断・表現] パートナーに身の回りで行くことに関する事柄を詳しく説明するために、コンビニで売られているものや外国人に道を尋ねられた経験などについて、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとする。 定期的な試験	・指導事項 話題 日常生活：日常生活で発話される生徒同士の自然な会話の流れや自分の感情や物事を表す表現を学ぶ。 文法 受動態：受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝える。 機能 原因・影響を表す／喜び・驚きを表す：様々な表現を用いて、原因や影響について表現する。また、喜びや驚きの感情を表す。 表現 話すこと：最近買ったものについて伝える。 教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける！ 英文法 INPUT 一人1台端末の活用等 Kahoot!、すららを活用					[知識・技能] 基本的な受動態や様々な受動態の意味や用法、原因・影響を表す表現を理解している。 基本的な受動態や様々な受動態の意味や用法を理解している。 身の回りで行くことに関する事柄について、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合う技術を身に付けている。 [思考・判断・表現] パートナーに身の回りで行くことに関する事柄を詳しく説明するために、コンビニで売られているものや外国人に道を尋ねられた経験などについて、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。 [主体的] パートナーに身の回りで行くことに関する事柄を詳しく説明するために、コンビニで売られているものや外国人に道を尋ねられた経験などについて、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。				0	0	0	5
	Lesson 7 I'm happy to have you with us. [知識・技能] 不定詞（名詞的用法・形容詞的用法、副詞的用法）の意味や用法、感謝する表現を理解する。 高校生がすべき大切なことについて、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合う技術を身に付ける。 [思考・判断・表現] パートナーと高校生がすべき大切なことについて議論するために、何をすべきかについて、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとする。 定期的な試験	・指導事項 話題 交流・交際：誕生日会を舞台に繰り広げられる友だち同士の自然な会話のやり取りから、感情を表す様々な表現を学ぶ。 文法 不定詞：様々な不定詞の用法を学び、詳細な情報を伝える。 機能 感謝する／謝罪する／弁解する：感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び、会話の相手に感情を適切に伝える。 表現 話すこと：受け取った贈り物について詳細に伝える。 教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける！ 英文法 INPUT 一人1台端末の活用等 Kahoot!、すららを活用					[知識・技能] 不定詞（名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法）の意味や用法、感謝する表現を理解している。 高校生がすべき大切なことについて、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合う技術を身に付けている。 [思考・判断・表現] パートナーと高校生がすべき大切なことについて議論するために、何をすべきかについて、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。 [主体的] パートナーと高校生がすべき大切なことについて議論するために、何をすべきかについて、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。				0	0	0	5
	Lesson 8 What sport do you like playing? [知識・技能] 動名詞（動名詞の意味上の主語／否定形・受動態）の意味や様々な用法、誘う・申し出る表現を理解する。 学校生活について、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合う技術を身に付ける。 [思考・判断・表現] 学校生活についてパートナーと話するために、クラスの生徒が自由時間に好きなことや不満に思っていることなどについて、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとする。 定期的な試験	・指導事項 話題 スポーツ・健康：所属するスポーツチームについて話す会話からチームに誇ったり、見学を勧めたりする表現を学ぶ。 文法 動名詞：動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を用いた多様な文で伝える。 機能 誘う・申し出る／推薦する：相手を誘ったり、申し出たりの表現や相手に物事を適切に推薦する表現を学ぶ。 表現 話すこと：スポーツをするなどの利点について話して伝える。 教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける！ 英文法 INPUT 一人1台端末の活用等 Kahoot!、すららを活用					[知識・技能] 動名詞（動名詞の意味上の主語／否定形・受動態）の意味や様々な用法、誘う・申し出る表現を理解している。 学校生活について、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合う技術を身に付けている。 [思考・判断・表現] 学校生活についてパートナーと話するために、クラスの生徒が自由時間にする好きなことや不満に思っていることなどについて、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。 [主体的] 学校生活についてパートナーと話するために、クラスの生徒が自由時間にする好きなことや不満に思っていることなどについて、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。				0	0	0	5
	Lesson 9 Digital media has come a long way. [知識・技能] 分詞（名詞を修飾する分詞・V(+to)現在分詞/過去分詞）の意味や用法、描写する表現を理解する。 日常生活で起こったり、経験した場面について、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合う技術を身に付ける。 [思考・判断・表現] 日常生活で起こったり、経験した場面について、パートナーに詳しく説明するために、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとする。 定期的な試験	・指導事項 話題 メディア・コミュニケーション：留学生とのやり取りから、メディアを通じたコミュニケーションについて意見を述べたり、情報を加えて詳しく説明する会話を学ぶ。 文法 分詞：名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現する。 機能 描写する「判断の根拠を述べる」：人や物事について情報を加えて詳しく説明する。また、判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝える。 表現 話すこと：自分自身や自身の性格について話して伝える。 教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける！ 英文法 INPUT 一人1台端末の活用等 Kahoot!、すららを活用					[知識・技能] 分詞（名詞を修飾する分詞・V(+to)現在分詞/過去分詞）の意味や用法、描写する表現を理解している。 日常生活で起こったり、経験した場面について、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合う技術を身に付けている。 [思考・判断・表現] 日常生活で起こったり、経験した場面について、パートナーに詳しく説明するために、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。 [主体的] 日常生活で起こったり、経験した場面について、パートナーに詳しく説明するために、情報や考え、気持ちを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。				0	0	0	5

[illegible]

高等学校 令和5年度 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1.2.7組：奥平) (3.4.5.6組：石井

使用教科書： (Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくろう 大修館書店、2023 最新 生活ハンド)

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する。
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生活のマネジメント 共生社会をつくる 【知識及び技能】 ・自分の生活と自分自身についてみつめ、自己理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・個人の発達段階の特徴と発達課題を知り、青年期の発達課題を達成するための生き方について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・家族のライフステージの特徴と生活課題を知り、現在および将来	・指導事項 第1章 (1) 生涯、発達し続ける (2) 意思決定を重ねてつくる人生 (3) どんな生き方をする？ ・教材 教科書、資料集、パワーポイントforms(一人1台端末の活用)	【知識・技能】 ・職業労働や家事労働の意義や特徴、現状と課題について理解している(ワークシート・発表) 【思考・判断・表現】 ・ライフスタイルや生活に関わる価値観の多様化について考えている(ワークシート・発表) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題、青年期の課題について考えようとしている(ワークシート・発表)	○	○	○	10
	青年期の課題と自立 家族・家庭生活のマネジメント 【知識及び技能】 ・青年期は、自立した生活が営めるように、また、自己実現にむけて生きていくための準備をする時期であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・家族関係のあり方について事例・演習等を通じて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・家庭の機能が家族員それぞれの協力によって成り立っていることを認識し、自らの家庭での役割を考える。	・指導事項 第2章 (1) 子どもからおとなへ (2) 自立の達成をめざそう 第3章 (1) 家族って何だろう (2) わかってくれたら当然？ (3) 生活マネジメントの拠点 (4) 法律から見る家族・家庭 (5) ダイバーシティの実現をめざす ・教材 教科書、資料集、パワーポイントforms(一人1台端末の活用)	【知識・技能】 ・家族に関する法律を理解している。(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・現代の家族のあり方・家庭の機能について自分の考えを表現している。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族・家庭に関する法律に関心をもち、社会制度としての家族について考えようとしている。(発表・ワークシート)	○	○	○	5
	子どもの生活と子育てのマネジメント 【知識及び技能】 ・人の命がこの世に誕生するまでの過程を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもにとって良い環境について多角的な視点から論理的に考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの誕生と母体の健康という生命の尊厳にふれることにより、自らの原点をみつめなおすことができる。	・指導事項 第4章 (1) 子どもの世界を知る (2) 命の誕生 (3) こんにちは、赤ちゃん (4) 好奇心いっぱい！ (5) 子どものいる暮らし (6) 子どもの仕事は「遊び」 (7) 子どもの健康と事故 (8) 親になるということ (9) 社会で子育て ・教材 教科書、資料集、パワーポイントforms(一人1台端末の活用)	【知識・技能】 ・子どもの発達の特性について理解している(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・母体の健康管理や生命の尊さに関する諸課題について、青年期の過ごし方と関わらせて考える(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの成長と発達について主体的に考え、実生活に活かそうとしている(発表・ワークシート)	○	○	○	10
	高齢期の生活のマネジメント 【知識及び技能】 ・高齢者の生活課題を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の心身の特徴を知り、高齢期の生活を充実させるための個人的・社会的方策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】	第5章 (1) 高齢期に生じる生活の変化と課題 (2) 高齢期に生じる心身の変化と課題	【知識・技能】 ・高齢者の心身の特徴の一般的变化について理解する(定期考査・ワークシート) 【思考・判断・表現】 ・高齢者の生活の現状と課題について具体的に考えを深め、まとめたり、発表したりしている。(ワークシート・発表) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢社会の現状と課題、高齢者の自立生活	○	○	○	5

2 学 期	食生活のマネジメント	第8章 (1) 食事の役割 (2) 食生活を見直す (3) 栄養バランスのよい食事 (4) 炭水化物の働きと食品の調理性 (5) 脂質の働きと食品の調理性 (6) たんぱく質の働きと食品の調理性 (7) 無機質の働きと食品の調理性 (8) ビタミンの働きと食品の調理性 (9) 加工食品について (10) 食品の選択と購入	【知識・技能】 ・栄養素の種類と働き、栄養素等摂取の基準や食品群別摂取量の目安を理解している。(定期考査・ワークシート) 【思考・判断・表現】 ・家族や自分の食生活について、栄養や健康と関わらせて考えようとしている。(ワークシート・発表) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・配膳や食事のマナーについて理解し、工夫することができる。(実習)	○	○	○	15
	衣生活のマネジメント	・教材 教科書、資料集、パワーポイントforms(一人1台端末の活用) 第10章 (1) 衣生活の現状と課題 (2) 被服の機能と快適性 (3) 被服材料と性能 (4) 被服と安全・衛生 (5) 被服の管理 (6) 資源としての被服	【知識・技能】 ・用途や着用品目的に合った被服材料の選択や被服材料に応じた洗濯、仕上げ、保管等ができる。(定期考査・実習) 【思考・判断・表現】 ・被服材料に応じた洗濯や適切な衣生活の管理について考えることができる。(発表・ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・被服構成や縫製技術の特徴に関心を持ち、被服製作に取り組んでいる。(ワークシート)	○	○	○	10
3 学 期	経済生活のマネジメント	・指導事項 第8章 (1) 生活を営むためのお金 (2) 経済のしくみを知ろう (3) お金と上手につきあう術 (4) 18歳で変わる消費生活 (5) 進むキャッシュレス社会 (6) 「お金を借りる」ということ (7) 消費者トラブルの今 (8) 消費者の自立を支援する (9) 情報社会を生きる (10) 私たちが社会を動かす	【知識・技能】 ・リスク管理も踏まえた家計管理について理解することができる。(定期考査・ワークシート) 【思考・判断・表現】 ・各ライフステージの特徴と課題等と関連付けながら障害の賃金や働き方について考えることができる。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自立した消費者として、環境や社会への影響を意識した責任ある消費行動を意識して取り組んでいる。(発表・ワークシート)	○	○	○	15
	安全で快適な住生活をつくろう	第9章 (1) なぜ住まうのか (2) 住生活の成り立ちと住文化 (3) ライフスタイルと住まいの関係	【知識・技能】 ・生活行為と住空間とのかかわり、動作に必要な広さ、家具の配置や動線などについて理解している。(間取り作成・発表) 【思考・判断・表現】 ・住生活の文化に関心をもち、住まいの機能、人間と住まいとのかかわりについて考えようとしている。(ワークシート・発表) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族構成、ライフステージ、生活にかかわる価値観などに応じた住空間の計画について検討しようとしている。(間取り作成・発表)	○	○	○	10
		・教材 教科書、資料集、パワーポイントforms(一人1台端末の活用)					70

